

「津久井やまゆり園」の事件について

※本内容は、2016年8月に神奈川県自閉症協会のTOPページに掲載したものです。※

皆さんご承知の「津久井やまゆり園」の事件について、少し遅くなりましたが 関連の当会の活動や当会としての受け止め等を述べさせていただきます。

第一に申し上げなければいけないのは、亡くなられた方のご冥福とご家族へのお悔やみです。そして負傷された方にはお見舞いを申し上げますが、それにもまして大切なのは、その方々が一日でも早く元の安定した毎日の生活を取り戻す事です。安定した生活を送るために入所した施設です。今回は施設の方々も含め、大変な体験をされて大きな混乱の中におられると思います。関係のみなさん、報道の皆さんも含めてその事、「安定した毎日の生活を取り戻す事」に、ご協力、ご配慮を頂きます様お願いしたいと思います。

第二は、今回の事件が「障がい者の社会的価値」に石を投じたものである事、この障がい者の社会的価値は既に国連の障害者権利条約で世界共通の価値として認識・認められている事です。障害者権利条約の前文のmという所に書いてあります。今回の事件を契機にこの事が社会で議論され、一般の人に改めて認識されることを期待します。

(→障害者の権利に関する条約へのリンクはこちら)

第三は、反省しなければならないという思いです。障害者権利条約の批准に向けた障害者制度改革によって、障がい者の環境はここ5年で大きく変化してきました。十分かどうかは別として私たちの望む方向への変化です。更に進めなければならないとは言ってまいりましたが、そこそこの所と思っていたのではないだろうかという思いです。まだまだ理解を深い所まで届けなければならない、これまでの啓発活動を更に推し進めると同時に、更に深い所へと言う課題をどうするか考えて行かなければなりません。インクルーシブな社会を構成する人を育てるインクルーシブ教育への期待もその一つになればと思います。

事件発生7月26日の翌日、当会(神奈川県自閉症協会)の各地区の会及び日本自閉症協会関東ブロックの各会に、会員さんのお子さんの入所者、被害者の有無を問合せしました。完全には把握しきれなかったかも知れませんが、会員のお子さんに被害があったのは、神奈川県協会の会員のみで、負傷の方1名でした。

また事件が神奈川で起こった事もあり、事件発生の報告と日本自閉症協会としての声明文の作成を 常任理事の皆さんのご協力を得て作成し、日本自閉症協会のホームページに掲載しました。

次のリンクを参照ください。

- > [障害者支援施設「神奈川県立 津久井やまゆり園」での事件に関する声明](#)
- > [自閉症の皆さま、ご家族の皆さまへ](#)

また事件に関して当会の受け止め等を聞きたいと、内田も新聞2社から取材を受け、神奈川新聞には7月30日に記事が掲載されました。取材では上記を中心にお話しましたが、部分的な取り上げになってしまいました。その事もあり、会員をはじめとした関係の皆さんに全体をお知らせすべく、本書をホームページに掲載します。

以上

2016年8月

神奈川県自閉症児・者親の会連合会 代表

神奈川県自閉症協会 会長

内田 照雄